

# 申請の調書 (在学生授業料免除用)

申請区分	<input type="checkbox"/> 令和5年度申請あり(前期・後期) <input type="checkbox"/> 令和5年度申請なし
------	---

変更等確認	<input type="checkbox"/> 変更申請 <input type="checkbox"/> 取り下げ
-------	--

**I 学籍情報** ※本人及び家族住所について学務ネットに登録済

学籍番号	所属(課程・専修等)	本人住所	Tel(携帯)
フリガナ		自宅・自宅外	
		寮生のみ 寄宿料免除申請 する・しない	
		寄宿料免除しない理由( )	
氏名		家族住所	Tel
		持家・賃貸	

**II 家族及び収入状況** ※同一生計者の内、別居している場合は「続柄」欄に×印

(1) 父母		※主たる家計支持者の続柄欄に◎印							住民税
続柄	氏名	年令	職業	就職年月日	勤務先等	給与収入/年	年金・手当/年	所得(自営等)/年	
	父					千円	千円	千円	課・非
	母					千円	千円	千円	課・非
死別離別等父母に関する事項		父母(死亡・生別) その年月 ( 年 月 )							
遺族年金・養育費の有無に○を付してください		遺族年金		→ 有・無		養育費		→ 有・無	
(2) 就学者を除く家族		※父母と就学者を除く全ての方							
続柄	氏名	年令	職業	就職年月日	勤務先等	給与収入/年	年金・手当/年	所得(自営等)/年	
						千円	千円	千円	課・非
						千円	千円	千円	課・非
						千円	千円	千円	課・非
(3) 就学者									
続柄	氏名	年令	学 校 名		令和6年度の学年(通学別)	授業料免除額			
本人			国立 愛知教育大学		年(自宅・自宅外)	千円			課・非
			立 ( )		年(自宅・自宅外)	千円			
			立 ( )		年(自宅・自宅外)	千円			
			立 ( )		年(自宅・自宅外)	千円			

(4) その他の収入 **※家族に確認のうえ、家族全員分のもものを合算して記入してください。**

臨時収入	退職金・保険金・資産売却・山林所得・その他 ( )	千円
雑収入	養育費・利子・配当・家賃等・内職・その他 ( )	千円

(5) 奨学金関係 (本人のみ) ※日本学生支援機構の奨学金については記入不要。

給付型奨学金	区分	給付期間	月 額	年 額
名称 ( )	給付のみ	～	千円	千円

**III その他**

(1) 身体障害者関係	(2) 原爆被爆関係
本人との続柄 ( ) 番号 ( )	本人との続柄 ( ) 番号 ( )
本人との続柄 ( ) 番号 ( )	
(3) 長期療養費関係	本人との続柄 ( ) 申告書 有・無 医療費の額 ( 千円)
(4) 家計支持者の別居	本人との続柄 ( ) 理由 ( ) 別居にかかる経費 ( 千円)
(5) 災害等	被災年月日: 年 月 日 被災状況を裏面に詳細に記載してください。

**IV 申請者の状況**

(1) 休学や留学の履歴がある場合は記入してください。

年 月 日 ~ 年 月 日	理由:
年 月 日 ~ 年 月 日	理由:

(2) 高校卒業後の学歴及び職歴について記入。

年 月	( ) 高等学校卒業	年 月
年 月		年 月

## (3) 申請する理由（主に家庭事情について）

※申請するに至った家庭事情について具体的に記入してください。

## (4) その他家計状況について

※該当する事項に✓を付してください。

家庭の生計について

- 主に父母（家計支持者含）の収入により生活している。
- 主に父母以外の収入により生活している。主な収入は：（ ）
- 家庭の総収入が少なく次により生活を維持している。↓該当事項に○  
**※父母の総収入合計が100万円未満の場合は必ず記入してください。**  
 年金・預貯金・他からの援助・生活保護・その他（ ）

## (5) 申請者本人の 1ヶ月当たりの平均生活費 ※独立生計者又は私費外国人留学生のみ記入してください。

収 入		単位：円	支 出		単位：円
家庭から、又は本国からの仕送り			食 費		
奨学金（貸与型及び給付型）			住居費		
アルバイト（TA等の収入も含む）			光熱水費（電気・ガス・水道代等）		
定 職			通信・交通費		
配偶者の収入			書籍・教材費		
預貯金の引き出し			授業料積立		
その他（ ）			教養娯楽費		
			雑 費		
			その他（ ）		
収入合計			支出合計		

※収入合計≧支出合計となるように記入してください。

## (6) 修業年限について（大学院生のみ記入してください。）

修士

- 2年（通常） ※授業料267,900円
- 3年（小免コース） ※授業料267,900円
- 3年（長期履修） ※授業料178,600円
- 4年（長期履修） ※授業料133,950円

博士

- 3年（通常） ※授業料267,900円
- 4年（長期履修） ※授業料200,925円



## (3) 申請する理由（主に家庭事情について）

※申請するに至った家庭事情について具体的に記入してください。

## 【記入例】

- ・父親が単身赴任で生活費が二重でかかるため。
- ・扶養家族が多く、十分な収入が得られていないため。
- ・両親が離婚しているが、養育費の支払いはなく、兄弟の教育費も今後かかるため。
- ・身体障害者の父の通院があり、働く時間が制限されるため、十分な収入が得られないため。
- ・両親ともすでに年金生活となっており、学費を捻出することが難しいため。
- ・一昨年の6月に父が失業し、再就職したが、前職より給与の額が少なくなったため。
- ・姉と私が自宅外通学のため、仕送りでの支出が多く、学費分までは捻出できないため。
- ・アルバイト先が業務縮小となり、収入が激減したため。

できるだけ詳細に記入してください。  
転職をくりかえしているような場合は、退職年月日、採用年月日等がわかるように記入してください。

## (4) その他家計状況について

※該当する事項に✓を付してください。

家庭の生計について

- 主に父母（家計支持者含）の収入により生活している。
- 主に父母以外の収入により生活している。主な収入は：（ ）
- 家庭の総収入が少なく次により生活を維持している。↓該当事項に○  
※父母の総収入合計が100万円未満の場合は必ず記入してください。  
年金・預貯金・他からの援助・生活保護・その他（ ）

## (5) 申請者本人の 1ヶ月当たり平均生活費 ※独立生計者又は私費外国人留学生のみ記入してください。

収 入		送金の金額がわかるもの (通帳のコピー等を添付)	支 出		単位：千円
家庭から、又は本国からの仕送り			食 費		
奨学金（貸与型及び給付型）			住居費		
アルバイト（TA等の収入も含む）		申請のしおりを参照して、収入 状況の確認書類のうち該当す るものを添付してください。	光熱水費（電気・ガス・水道代等）		
定 職			通信・交通費		
配偶者の収入			書籍・教材費		
預貯金の引き出し			授業料積立		
その他（ ）			教養娯楽費		
			雑 費		
			その他（ ）		
収入合計			支出合計		

※収入合計 ≧ 支出合計となるように記入してください。

## (6) 修業年限について(大学院生のみ記入してください。)

該当の修業年限に✓を付してください。

- |    |   |    |  |
|----|---|----|--|
| 修士 | <input type="checkbox"/> 2年（通常） ※授業料267,900円    | 博士 | <input type="checkbox"/> 3年（通常） ※授業料267,900円   |
|    | <input type="checkbox"/> 3年（小免コース） ※授業料267,900円 |    | <input type="checkbox"/> 4年（長期履修） ※授業料200,925円 |
|    | <input type="checkbox"/> 3年（長期履修） ※授業料178,600円  |    |  |
|    | <input type="checkbox"/> 4年（長期履修） ※授業料133,950円  |    |  |

## 【記入上の注意等】

- ・【申請区分】入学料免除又は徴収猶予を申請している場合は必ずチェックしてください。
- ・千円単位の金額を記入する場合は、千円未満を切り捨てて、記入してください。

<b>I 学籍情報</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本人及び家族住所は、実際に居住している住所を記入してください。 (大学に登録してある住所が調書と異なっている場合は、必ず教務企画課で変更しておいてください。)</li><li>・学生寮の入居者は、原則、寄宿料免除を併せて申請してください。特別な理由で、寄宿料免除しないを選択する場合は( )に理由を記載してください。</li></ul>
<b>II 家族及び収入状況</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・同居している家族全員について、記入してください。(住民票が別世帯となっている場合も、同居していれば同一生計とみなします)</li><li>・家族の職業欄は、会社員・公務員・教員・講師・パート・アルバイト・農業・自営業・専従者・保険外交員等、具体的に記入してください。</li><li>・就職年月日は、契約社員等で毎年又は数年ごとに契約が更新される場合も、最初に採用された年月日を記載してください。</li><li>・給与所得者は【給与収入/年】欄に、源泉徴収票の「支払金額」の額を記入してください。</li><li>・自営業で給与所得者ではない場合、【所得(自営等)/年】欄に、確定申告書の「所得金額」の額を記入してください。</li><li>・年金受給者は【給与収入/年】欄に、受給額を記入してください。 (年金受給者は、年金振込通知書のコピーを提出してください。)</li><li>・複数の収入(パートと年金等)がある場合は、それぞれの収入がわかるように記入してください。</li><li>・調書提出時に受験等のため未定の場合は、就学者の欄に氏名・年齢まで記入し、決定後学校名等を追加で記入及び在学証明書を提出してください。</li><li>・就学者の在学証明書は4月以降の進学、進級後の学年のものを提出してください。 (就学者の兄弟姉妹が、国立学校に在学している場合は、大学指定の様式をHPからダウンロードして、各学校で証明してもらってください。)</li><li>・中学校以下の就学者については、在学証明書は必要ありません。</li><li>・授業料免除申請の臨時所得は、恒常的に発生しない収入で、令和5年10月1日以降の収入に関して記入してください。 (入学料免除申請の場合の臨時所得は令和5年4月1日以降の収入に関して記入してください。)</li><li>・奨学金関係について、給付型(返還不要)の奨学金をもらっている場合に、記入してください。 (日本学生支援機構の奨学金については、記入不要です。)</li></ul>
<b>III その他</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・単身赴任で別居にかかる経費がある場合の控除額の上限は71万円です。</li></ul>